



園だより

令和6年1月発行
幼保連携型認定こども園
合志こども園 園長 松岡 貴子

2024年。こども園は記念の年を迎えます

新年を迎えて直ぐ、自然の力に胸を痛める事象が起きました。厳しい冬を、避難生活で過ごされている方々の一日も早い復興と、犠牲になられた方のご冥福を祈るばかりです。

熊本地震の時、私たちが受けた支援を、どのような形でつなげていけるか考えることが大切だと思います。先日ニュースで、合志市役所の職員の方も、現地へ出向かれたと出ていました。

事象を通して大切な命を預かる園として、日ごろの備えの重要性・訓練の方法を再確認しました。寒くなった時期の避難訓練は、防寒対策も必要となります。アルミシートを巻くことで、暖を取れるのではないかと備品を揃えたり、広域避難場所への移動を想定して、指示の出し方をその都度考えたり、こどもと共に「命を守る行動」に取り組んでいます。

【答えを与えるのではなく、共に考える】ことを日ごろから大切にしています。行動すべてにおいて、「どうすればいいかな？」と問いかけることが重要です。手を貸すことは、こどもの成長の機会をなくすことにつながっていきますので、年齢に関係なく、関わる大人が意識して取り組んで参りましょう。自分で答えを見つけ、行動することは継続して自ら取り組む力**【自己効力感】**となりますので、私たちは**【温かく見守り、共に考え、方向性を示す】**ことが役割だと信じ取り組みましょう。

2024年。こども園は、開園10周年を迎える『10 year anniversary』です。

記念となる一年を、こども達、保護者の皆様、これまで関係していただいた方々と共に、
更に素敵な日々すごして参りたいと思います。



★子育て OnePoint！ 「やる気スイッチ！ どうやってはいる？」

毎日忙しい中、大切なお子様の子育てを頑張って頂きありがとうございます。一年前の姿を思い出してみてください。「あれもこれも手伝っていたけど、自分で頑張ろうとするようになったな。」「やって～。と甘えることが多かったのに、自分でやる！って自立してきたな」と成長が見えてくるのではないのでしょうか。ヨチヨチ歩きだった、0歳児さんも朝からタオル掛けや連絡帳だし等自分でやろうという気持ちを持って行動できるようになっています。靴下をはくことが難しく直ぐ手伝ってと頼っていたこどもも、すいすい履くことができるようになって、行動に自信が感じられます。

最初からうまくできないことは当たり前なので、「**時間が掛かっても頑張る気持ちを育てる**」ことが大切です。段階を踏まえてやり方を伝え、応援し、認めてあげることが、こどものやる気にスイッチを入れます。一度スイッチが入ると、またほめてほしいと頑張る姿になり、いつの間にか「自分でできてすごいですよ。なんでもできるよ」という気持ちが育ちます。

楽しい子育ての中で、**【見守る・応援する・褒める、認める】**気持ちを、これまで同様大切にして、関わると、やる気スイッチもたくさん入り、子育てが益々楽しめますね。



●行事予定 変更する可能性もあります

2月	行事	備考	3月	行事	備考
1日	プログラミング活動・英語		1日	ロアッソサッカー大会	
2日	まめまき		2日	個人面談	
	ロアッソサッカー		4日	体育活動	
3日	R6年度2・3号面接		5日	誕生会	
6日	Eiくらぶ		7日	英語活動	
8日	英語活動			プログラミング活動	
9日	体育活動：石橋 T		9日	卒園式リハ	
	発表会準備 18時降園協力		10日	進級プレゼント包み	
10日	発表会 杉並台幼稚園		12日	幼年消防クラブ解散式	
13日	Eiくらぶ 身体測定		14日	英語活動 身体測定	
14日	誕生会			体育活動最終：石橋 T	
15日	英語活動		21日	プログラミング活動	
	プログラミング活動		22日	修了式	
16日	ドンちゃん号			卒園式準備	18時降園協力
19日	体育活動		23日	卒園式	年中児参加
20日	Eiくらぶ閉講			重要事項説明会	13時半～
22日	英語活動		29日	新学期準備	13時降園協力
24日	お別れ遠足		30日	新学期準備	
26日	体育活動			土曜保育利用協力	
29日	ひな祭り会				

※避難訓練

・災害は不規則に起こることを想定し、【いつ起こっても対応できる力を育てる】ことをねらいとし、2学期からの避難訓練予定日を提示せず訓練を実施しています。

※発表会

・杉並台幼稚園リズム室を会場に実施します。

運動会と同様、こども達の年齢による成長の違いを見て頂く時間とし計画していきます。

自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりすることは人と関わる中でとても大切なことです。このコミュニケーション力を高めていくために、日々の生活の中で、言葉を交わし、思いを伝え合う経験を沢山することが大切です。まずは、自分の考えを伝えることに取り組んで参りましょう。

